

番 神奈川県立横浜北高等学校 神奈川綾乃

(画像1)

地球温暖化は、私たちにも避けて通れない問題ですね。普段使っているスーパーのレジ袋ですが、

日本全体で消費されている量は年間300億枚。

このため原油を6億リットルも使います。

これが少しでも無くなれば、温暖化防止に役立つはず。

(画像2)

そこでこの横浜市のスーパーマーケットでは神奈川でもいち早く『レジ袋有料化』に踏み込みました。

横浜市のG30エコパートナー協定に基づいて実施されています。

横浜市ではG30のロゴマークを使って、ごみ総量削減に市をあげて取り組んでいます。

(画像3)

利用者は、マイバックを持参し買物します。

この取り組みの前にオリジナルトートバックを配布するなどの運動を行ってきました。レジ袋を使用する場合は、1枚5円。

以前はマイバック持参者は1割程度でしたが、現在は6割を超えるそうです。

(画像4)

しかし県内のコンビニエンスストアでは、マイバックを持ってくる利用者が少なく

簡単に有料化ができないという問題点もあるそうです。

(画像5)

私たちが利用する際にも、普段からポケットにバックを入れて、買い物に行きたいものですね。

神奈川とのかかわり

私が神奈川県で一番好きな町の横浜が、舞台になっていることです。

神奈川県立 高等学校

有島 武郎 一房の葡萄

ぼくは小さい時に絵をかくことが好きでした。

ぼくの通っていた学校は横浜の山の手という所でしたが、

そこいらは西洋人ばかり住んでいる町で、

ぼくの学校も教師は西洋人ばかりでした。

そしてその学校の行きかえりには、

いつでもホテルや西洋人の会社などがならんでいる海岸の通りを通るのでした。

通りの海沿いに立って見ると、

真青な海の上に軍艦など商船だのがいっぱいならんでいて、

煙突から煙の出ているのや、

櫓から櫓へ万国旗をかけたわたしたのやがあって、

目がいたいようにきれいでした。

ぼくはよく岸に立ってその景色を見わたして、

家に帰ると、覚えているだけをできるだけ美しく絵にかいてみようと思いました。けれど

もあのすきとおるような海の藍色と、

白い帆前船などの水ぎわ近くにぬってある洋紅色とは、

ぼくの持っている絵の具ではどうしてもうまく出せませんでした。

いくらかいてもかいてもほんとの景色で見るとような色にはかけませんでした。

ふとぼくは学校の友だちの持っている西洋絵の具を思い出しました。

その友だちはやはり西洋人で、しかもぼくより二つくらい年が上でしたから、

身長は見上げるように大きい子でした。

# 13

VM 部門 神奈川県立 高等学校 放送研究部

(体育館前で、水を飲むシーン)

ナレーション「何気なく、使用している水道の水。水がもしでなくなったら・・・とても困りますよね。横浜市の水はどこからきているのでしょうか？」

(先生二人、生徒二人程度にインタビュー)

インタビュー「この水はどこからきているか知っていますか」

答え「わかりません」

インタビュー「この水はどこからきているか知っていますか」

答え「山梨県の道志川水系からだと思います」

インタビューした場所でコメント「先生方が言うように、横浜の水は、山梨県からきているのでしょうか。調査してみることにしました。」

ナレーション「私たちは津久井湖にある青山水源事務所を訪ねてみました」

インタビュー「おなまえをおしてください」

田口「横浜市水道局 青山水源事務所の田口徳男所長です。」

インタビュー「私達の高校の近くに『水道用地』とあるのですが」

答え「私たちの学校の近くを通っているのは、相模湖から引かれた水道です。これは昭和になってから引かれた新しい水道です。」

インタビュー「また、少し離れたところに「水道みち」と書かれた看板があるのですが」

答え「それがこの青山水源地から引かれた水が通っている水道みちです。こちらは古く明治20年に完成しました。」

インタビュー「ここではどういうことをしているのでしょうか？」

答え「ここでは山梨県から道志川を経て流れてきた水を取水し、たくさんの沈殿槽を通過させて、ごみや泥をろ過する施設です。この場所は水道の第一段階でまだ直接飲める状態ではありません。」

インタビュー「ありがとうございました」

ナレーション「青山水源地からの水は、城山高校近くのダムを通過しています。この水は相模原市をへて、私たちの横浜市へ向かっています。」

ナレーション「続いて、学校の近くにある水道みちに行ってみましょう。」

コメント「ここが水道みちです。道志川から運ばれた水が相模原市をってこの横浜の旭区今宿町に来ています。」

道でコメント「水道が通っていることを表す何かを探してみましょう。」

(探す)

道でコメント「ありました！これがトロッコの線路ですね」

ナレーション「水道みちは、現在遊歩道として整備されています。道には「トロッコみち」と書かれたプレートが設置され、水道が引かれた当時の歴史を今に伝えています。」

ナレーション「水道とトロッコの関係ですが、もちろん水をトロッコで運んだわけではなく、水道を引くための資材をトロッコに乗せて運んだということです。」

ナレーション「トロッコの線路は現在ほとんどが失われてしまいましたが、この今宿の地にトロッコ橋として7m幅2mの線路が残されています。」

ナレーション「最後に、野毛山に来てみました。」

ナレーション「山梨県から来た水は道志川で取水され、相模市、横浜市北部を通り、この野毛山に到達しました。」

野毛山でコメント「ここが、近代水道の終点野毛山です。道志川から運ばれた水道はここにいったん集められ、桜木町の住宅に運ばれたそうです。」

野毛山でコメント「この銅像がHSパーマーです。彼はイギリスの設計技師として日本をたずね、工事を指揮し、彼の力によって水道をここまでひくことができました」

コメント「最後にパーマーさんと記念撮影をしました。」

(パチリ！)

ナレーション「制作は神奈川県立 高校放送研究部でした」

使用音源：A r k y 著作権フリー音源

# 12

AP 部門 高等学校 放送研究部

学校の外

スライド 01

美流香「なーさん。チリトリ持ってきて。」

スライド 02

那菜「へーい、今行くよ」

スライド 03

美「ふーう、やっと終わったね。」

スライド 04

那「お、今気付いたんだけど、この学校の上の道って、まっすぐだね。」

美「そうだね。なんでまっすぐなのかなあ。あつ、ここなんか書いてある！」

スライド 05

那「え？どれどれ？水道用地？」

美「へー、この下水道が通っているのかなあ」

スライド 06

那「あー、この道はずーっと続いているね」

スライド 07

ナレーション「この道は『ふるさと尾根道緑道』といって、水道用地に整備した遊歩道で、私達の高校から鶴ヶ峰駅まで続いています」

那「うちの学校のそばに通っているのは、新しくひかれた水道みちで、旧16号線の水道みちは明治にひかれたものなんだって！」

スライド 08

美「ホームページで見ると、こんなプレートがあるらしいよ」

那「よっしゃいってみよう！」

スライド 09

美「私たちは、1番のプレートがある津久井湖に行ってみました」

美「プレートってそんなに大きくないからなかなか見つからないなあ・・・」

那「んーボート乗り場の近くって書いてあるよ。ボート乗り場を探さなきゃ」

スライド 10

美「んーここかなあ。なんか猛犬注意って書いてあるけど・・・」

美「お願いして、取材させてもらいました」

スライド 11

那「これかなあ。あ、そうだそうだ。これだこれだ。」

スライド 12

美「ここは津久井湖の三井って場所。道志川水系から水道水を取水している。道志川は何と山梨県からつながっているんだよ。」

スライド 13

那「学校まで戻ってきました」

美「じゃあこれから、徒歩で探検に行こー！」

那「まずは、都岡町内会館付近だね」

スライド 14

美「でも、この建物の周りには見当たらないなあ」

那「んー、あっ、あれそうじゃない？」

スライド 15

美「あったーあ」

那「以外と学校の近くにあるんだね」

美「うん」

スライド 16

美「この道も、遊歩道として整備されているね」

那「うん、歩いて行ってみようか」

美「16号線に出ました」

スライド 17

美「あっ、あそこに看板があるよ」

スライド 18

那「このプレート、トロッコみちって書いてあるね。水をトロッコで運んだのかなあ」

美「そんなことはないでしょう！水道を作るための資材を運んだみたいだよ」

那「へーすごいね。え？なんでそんなこと知っているの？」

美「実は調べておいたんだ」

スライド 19

那「あっ、ここにトロッコの線路のあとがあるよ。」

美「渡ってみよう！」

スライド 20

美「ここがいまでも当時のレールを残してある場所です」

那「ふう。結構大変だったね」

美「でも、おもしろかったあ。いろいろ新しい発見があったしね」

美「最後に、近代水道の終点、野毛山に行ってみました」

スライド 21

美「あ！ここに古い水道管があるよ！」

スライド 22

那「ヘンリースペンサーパーマーって誰？」

美「何いってんの！？この人こそ、横浜の水道を最初に引いた人だよ」

那「へーそうなんだ」

スライド 23

美「野毛山で最後のプレートを発見しました。」

美「はぁ、このプレートで最後だね」

那「横浜はいろいろな初めてがあるけど、水道にも歴史があるんだね」

美「しかも水道は山梨県から引かれているんだ。きれいな水を生んでいる山梨県に感謝だね。」

スライド 24

那「最後に、近代水道の父パーマーさんと記念撮影でもしようか。」

美「うん、そうだね！」

スライド 25

美「このプレートは全部で50ヶ所近くあります」

那「みなさんも、自分の住んでいる近所にプレートを探してみてもいいかな？」

美+那「それでは、さよーなら」

使用音源 Ark y 著作権フリー音源